

看護学部^の教育課程

(2019年度以降の入学生用)

学科の目的と教育課程

看護学部看護学科の目的

1. 看護学部看護学科のめざすもの

看護学部看護学科は、大学の創立者であるシスター江角ヤスの目指した、学問による知識の偏重ではなく、愛に根ざした真の知恵を身につけ、自己を磨いて人間形成に励むことができる人、愛をもって人や社会のために奉仕・貢献できる心豊かな人を育成することを目指します。これを達成するために、一人ひとりの学生を大切にしたい少人数による教育、教養豊かな感性教育、教員の相互連携による教育体制を整えています。

2. 教育目標

建学の精神に則り、命を持つものはかけがえのない存在であると認識し、他者を思いやる心をもつ看護専門職として社会に貢献でき、生涯を通して自己の可能性に挑戦し続けられる人材を育成します。

3. ディプロマポリシー

看護学科では、教育目標のもと、看護学科の教育課程を履修して所定の単位を修め、これらの能力を備えた者に卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与します。

- ①豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。
- ②自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。
- ③看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。
- ④地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。
- ⑤看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。

4. カリキュラムポリシー

教育課程は建学の精神と基本理念を踏まえ、ひとりの人間としての成長を支える「基礎」科目群と専門分野の基本的な知識・技術を修得する「専門」科目群とにより編成しています。「専門」の科目群は、「看護の基礎」「看護の実践」「看護の発展」の3つの構成により、基礎・基本から応用へと段階的に学修し、あらゆる健康レベルに対応できる人材を育成する科目を配置しています。また、全科目を通じて、感性を養うための教授法の工夫を行っています。

1. 「基礎」の科目群は、「純心の感性教育を基盤とした人材の育成」を目指し、豊かな感性と幅広く深い教養、人間の尊厳と権利擁護、倫理的感性の醸成、人々を取り巻く社会・環境について考える科目、あらゆる成長・発達段階にある対象を理解するための科目を配置しています。
2. 「看護の基礎」では、対象の健康状態を的確に判断するために必要な「人間の心と身体・病態・治療に関する科目」、看護の土台となる「看護のしくみ・制度に関する科目」を学びます。さらに人間の尊厳と権利を擁護する力として、看護専門職としての倫理観を育み、自己を活用し、看護の実践の基本となる対人支援力を学修する科目を段階的に配置しています。
3. 「看護の実践」では、対象のあらゆる健康状態やあらゆる発達段階に応じた適切な看護を実践するために必要な「知識・技術・態度」を統合的・体験的に学修する科目を配置しています。
4. 「看護の発展」では、卒業後、継続的に看護学を探究・発展させていくために必要な基礎力と自律した自己教育力を身につけるために、より専門的な科目やマネジメント、看護研究などの科目を配置しています。
5. 看護学への興味と関心が高まるように、実習科目を初期段階から配置し、体験してきたことを講義・演習・実習で確認できるよう考慮しています。また、科目間の関連を学習者が有機的に結びつけて無理なく学修できるように4年間の科目数をバランスよく配置しています。

5. 看護学実習

看護学実習では、学内で学んだ教養と専門の基礎知識、看護技術、援助者としての基本的態度をもとに、医療機関に入院している人々や福祉施設及び地域で生活する人々に接しながら、看護の実際を学びます。

看護学実習を通して、医療・保健・福祉に携わる様々な専門職と接し、専門性を生かした活動を直接学ぶことで、多職種との連携及び協働などについての理解を深め、ヘルスケアチームの一員としての自覚を育みます。詳細は、実習要項を参照してください。

各専門領域の実習は、少数で構成されたグループに別れて実習を行います。領域の実習は、それぞれが独立した必修科目で、各領域のプログラムに沿って実施されます。1つの領域での実習終了後、次の領域での実習というように、3年後期を中心に全領域の実習を行います。それぞれの領域をどのような順番で回るかは、実習を行うグループによって異なりますので、3年後期と4年前期にどこの領域実習を行うのかを各自で把握し、履修登録や他の必要な手続きを行ってください。

【実習計画】

4年間の実習計画は次のようになっています。

実習計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次									基礎看護学 実習 I			
2年次				老年看護学 実習 I		基礎看護学 実習 II						
3年次								成人 看護学実習 I 精神 看護学実習	小児看護学 実習 老年看護学 実習 II 在宅 看護学実習	成人 看護学実習 II 母性 看護学実習		
4年次				統合実習								

6. 卒業研究

卒業研究は、それまで学修したことを基礎として研究的思考や手法を身につける科目で、2年後期から3年後期にかけて「看護研究 I」が開講されます。看護研究は、自己のテーマや目的に従って希望する領域に分かれて行うので、2年次前期に開講される「看護研究方法」の終了後に領域希望調査を行って、領域を決定します。領域決定後は、指導教員の下で研究計画書の作成を進めていきますので、それまでにどのような研究をどの領域で行うかについて、各自で考えて準備してください。

7. 履修上の留意点

1) 授業時間割

大学では授業の時間割を自分で組みます。授業には必修授業と選択授業がありますので、まず必修授業を入れて残りの時間に選択授業を入れるようにしましょう。時間割はオリエンテーション期間中に組んでいきます。

- 必修授業：卒業するために必ず履修しなければならない授業。

対象年次が決まっているものは、その年次中に必ず履修してください。

- 選択授業：選択授業は自分で選べる授業です。

自由選択科目と選択必修科目に分けられます。選択必修科目は、定められた項目内から必要な単位数を満たすように科目を選ぶものです。

2) 臨時試験と定期試験

大学では前期授業終了日後と後期授業終了日後に、それぞれ定期試験期間がありますが、授業によっては定期試験期間外に試験を実施する場合があります。個々の授業によって異なりますので注意しましょう。

3) 集中講義

授業実施日以外の長期休暇中などに集中して実施される講義があります。講義内容や実施日についてはシラバスで確認しましょう。

看護学部看護学科 卒業に必要な単位(126 単位)と科目構成内訳 *2019 年度以降入学生

①必修科目(113 単位)

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門	看護の発展	災害看護学 国際看護学	看護研究方法	←-----看護研究 I-----→	医療安全		医療経済論 看護管理学 多職種連携論	看護行政と看護の展望 看護論
	看護の実践	看護技術演習 I ヘルプモーション論 看護技術演習 II 看護理論 発達看護学 III (老年)	看護過程 看護技術演習 III フィジカルアセスメント 発達看護学 I (小児) 発達看護学 II (成人) 精神看護学 I 老年看護学 I 母性看護学 I 老年看護学実習 I	成人看護学 I 慢性期 小児看護学 I 小児看護学 II 母性看護学 II 精神看護学 II 老年看護学 II 在宅看護学 I	成人看護学 II 急性期 成人看護学 III 終末期・緩和看護学 小児看護学 III 精神看護学 III 在宅看護学 II	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 II 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	在宅看護学実習 統合実習	
	看護の基礎	医療概論 形態機能学 I 形態機能学 II 看護学概論 人間関係論 I 栄養学 生化学	病理学 形態機能学 III 形態機能学演習 疾病治療論 I 疾病治療論 II 感染予防学	保健医療福祉システム論 薬理学 看護倫理 家族看護学 疾病治療論 III 疾病治療論 IV	疾病治療論 V 人間関係論 II			看護の関係法規
基 礎	社会と生活	情報科学 社会と法律	社会学概論					
	外国語	英語 I	英語 II	←-----看護英語-----→				
	こころと身体	心理学概論	発達心理学					
	人間理解	倫理学	論理学 教育学概論					
	基礎教養	Science Basics 看護学セミナー キリスト教学	人間とアート					

②選択必修科目 (13 単位以上)

専 門	看護の発展					←-----看護研究 II-----→	看護教育論 看護技術フォローアップ演習
	看護の実践				がん看護 補完代替医療と看護		
	看護の基礎		看護情報学		臨床心理学		
基 礎	こころと芸術	合唱音楽			音楽療法 美術療法		
	社会と生活		文化人類学 家族社会学			人間関係論 III	
	外国語	←-----Reading & Writing (1~4 年)-----→					
	こころと身体	運動実技・理論 I		英語 III	英語看護論文講読		
	人間理解		純心平和学 哲学	宗教学			
	基礎教養	文章表現法	Humanities Basics				

看護学部 看護学科科目表 (2019年度以降の入学生用)

区分	科目コード	授業科目	単位数		配当年次・時間数								選択必修	形態			科目担当 責任者	
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			講義	演習	実習		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基礎科目	基礎教養	19JUN101 看護学セミナー	1		15										○			山本 君子
		19HUM102 Science Basics	2		30										○			博多 祐子
		19ART103 人間とアート	2		30										○			田尻 真理子
		19HUM104 文章表現法		1	15										○			村松 香代子
		19HUM105 Humanities Basics		2	30										○			増田 光
	人間理解	19JUN106 キリスト教学	2		30										○			宮本 久雄
		19JUN107 純心平和学		2	30										○			田尻 真理子
		19JUN108 哲学		2	30										○			西村 雄太
		19JUN109 宗教学		2			30								○			寒野 康太
		19HUM110 倫理学	1		15										○			西村 雄太
		19HUM111 論理学	1		15										○			西村 雄太
		19HDE112 教育学概論	1		15										○			神山 直子
	こころと身体	19HDE113 心理学概論	1		15										○			尾野 明美
		19HDE114 発達心理学	1		30										○			根本 葉子
		19HUM115 運動実技・理論Ⅰ		1	30											○		下川 学
		19HUM116 運動実技・理論Ⅱ		1			30									○		下川 学
		19LAN117 英語Ⅰ	1		30										○			高橋 千佳子
		19LAN118 英語Ⅱ	1		30										○			高橋 千佳子
	外国語	19LAN119 看護英語	2				通年 60								○			高橋 千佳子
		19LAN120 英語Ⅲ		1		30									○			高橋 千佳子
		19LAN121 英語看護論文講読		1				30								○		
		19LAN122 Reading & Writing		2				通年 60								○		高橋 千佳子
		19HUM123 社会学概論	1		30										○			笠原 良太
		19HUM124 社会と法律	1		15										○			石黒 麻利子
	社会と生活	19HUM125 情報科学	1		30										○			田中 久弥
		19HUM126 文化人類学		1	30										○			金子 毅
		19HUM127 家族社会学		1	30										○			笠原 良太
		19ART128 合唱音楽		1	30											○		田中 俊太郎
		19ART129 美術療法		1			30									○		
	芸術と	19ART130 音楽療法		1			30									○		
看護の基礎		19NBA201 形態機能学Ⅰ	1		30										○			本田 智子
		19NBA202 形態機能学Ⅱ	1		30										○			本田 智子
	19NBA203 形態機能学Ⅲ	1		30										○			本田 智子	
	19NBA204 形態機能学演習	1		30											○		本田 智子	
	19NBA205 医療概論	1		15										○			上谷 いつ子	
	19NBA206 病理学	1		30										○			高木 正之	
	19NBA207 薬理学	2			30									○			武半 優子	
	19NBA208 生化学	1		30										○			末松直也・吉田稔	
	19NBA209 栄養学	1		30										○			柴田 みち	
	19NBA210 感染予防学	1		30										○			竹村 弘	
	19NBA212 疾病治療論Ⅰ	1		30										○			聖マリアンナ 医科大学教員	
	19NBA212 疾病治療論Ⅱ	1		30										○				
	19NBA213 疾病治療論Ⅲ	1			30									○				
	19NBA214 疾病治療論Ⅳ	1			30									○				
	19NBA215 疾病治療論Ⅴ	2				60								○				
	健康と社会 保障制度	19NBA216 看護の関係法規	1							15					○			
19NBA217 保健医療福祉システム論		1			30									○			戸塚 智美	
19NPR218 ヘルスプロモーション論		1		15										○			吉田 稔	
看護の基礎 人間関係と	19NBA219 人間関係論Ⅰ	1		30											○		山川 裕子	
	19NBA220 人間関係論Ⅱ	1			15										○		博多 祐子	
	19NBA221 人間関係論Ⅲ		1						15						○			
	19NBA222 看護倫理	2			30									○			相羽 利昭	
	19NBA223 看護情報学		1	15										○			高柳 良太	
	19NBA224 臨床心理学		1				30							○				
																		★ ★印 ★2単位 ★選択必修

- ・ 授業科目の開講の有無及び開講の時期については、必ず「授業時間割表」で確認してください。
- ・ 15時間の授業は、2分の1期で終了します。
- ・ 科目担当責任者以外の教員は、シラバスで確認してください。

区分	科目コード	授業科目	単位数		配当年次・時間数								選択必修	形態			科目担当 責任者	
					1年次		2年次		3年次		4年次			講義	演習	実習		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
看護の 実践	19NBA301	看護学概論	1		30										○			天野 雅美
	19NPR302	看護技術演習Ⅰ	1		30											○		樋口 美樹
	19NPR303	看護技術演習Ⅱ	2		60											○		樋口 美樹
	19NPR304	看護技術演習Ⅲ	2			60										○		樋口 美樹
	19NPR305	看護理論	1		15											○		市川 茂子
	19NPR306	看護過程	1			30										○		天野 雅美
	19NPR307	フィジカルアセスメント	1			30										○		市川 茂子
	19NPR308	基礎看護学実習Ⅰ	1		45												○	市川 茂子
	19NPR309	基礎看護学実習Ⅱ	2			90											○	天野 雅美
	19NPR310	発達看護学Ⅱ（成人）	1			15										○		酒井 博子
	19NPR311	成人看護学Ⅰ	2			60										○		小濱 優子
	19NPR312	成人看護学Ⅱ	2				60									○		
	19NPR313	成人看護学Ⅲ	1				15									○		
	19NPR314	発達看護学Ⅲ（老年）	1		15											○		山本 君子
	19NPR315	老年看護学Ⅰ	1			30										○		塚本 都子
	19NPR316	老年看護学Ⅱ	2			60										○		塚本 都子
	19NPR317	発達看護学Ⅰ（小児）	1			15										○		荻原 康子
	19NPR318	小児看護学Ⅰ	1			15										○		荻原 康子
	19NPR319	小児看護学Ⅱ	1			30										○		松本 宗賢
	19NPR320	小児看護学Ⅲ	1				30									○		
	19NPR321	母性看護学Ⅰ	1			30										○		竹元 仁美
	19NPR322	母性看護学Ⅱ	2			60										○		時田 純子
	19NPR323	精神看護学Ⅰ	1			30										○		山川 裕子
	19NPR324	精神看護学Ⅱ	1			30										○		博多 祐子
	19NPR325	精神看護学Ⅲ	1				30									○		
	19NBA326	家族看護学	1			15										○		竹元 仁美
	19NPR327	終末期・緩和看護学	1				15									○		
	19NPR328	がん看護		1			15									○		
	19NPR329	補完代替医療と看護		1			15									○		
	19NPR330	成人看護学実習Ⅰ	3						135								○	
	19NPR331	成人看護学実習Ⅱ	3						135								○	
	19NPR332	老年看護学実習Ⅰ	2			90											○	山本 君子
	19NPR333	老年看護学実習Ⅱ	2				90										○	
	19NPR334	小児看護学実習	2				90										○	
	19NPR335	母性看護学実習	2				90										○	
	19NPR336	精神看護学実習	2				90										○	
看護の 発展	19NAD401	医療安全	1					15							○			
	19NAD402	医療経済論	1							15					○			
	19NAD403	多職種連携論	1							15					○			
	19NAD404	看護管理学	1							15					○			
	19NAD405	国際看護学	1		15										○			上條 優子
	19NAD406	災害看護学	1		15										○			上谷 いつ子
	19NAD407	看護行政と看護の展望	1							15					○			
	19NAD408	看護論	1							30					○			
	19NAD409	看護教育論		1						15					○			
	19NAD410	看護技術フォローアップ演習		1						30					○			
	19NPR411	在宅看護学Ⅰ	1				30								○			戸塚 智美
	19NPR412	在宅看護学Ⅱ	2				60								○			
	19NPR413	在宅看護学実習	2					90								○		
	19NAD414	統合実習	2					90								○		
19NAD415	看護研究方法	1			30									○			竹元 仁美	
19NAD416	看護研究Ⅰ	4					120								○		竹元 仁美	
19NAD417	看護研究Ⅱ		2						60						○			
卒業単位数（126以上）			113	29	合計単位数								13以上					

- ・ 授業科目の開講の有無及び開講の時期については、必ず「授業時間割表」で確認してください。
- ・ 15時間の授業は、2分の1期で終了します。
- ・ 科目担当責任者以外の教員は、シラバスで確認してください。

看護学部の**教育課程**
(2018年度以前の入学生用)

学科の目的と教育課程

看護学部看護学科の目的

1. 看護学部看護学科のめざすもの

看護学部看護学科は、本学の創立者であるシスター江角ヤスの目指した、学問による知識の偏重ではなく、愛に根ざした真の知恵を身につけ、自己を磨いて人間形成に励むことができる人、愛をもって人や社会のために奉仕・貢献できる心豊かな人を育成することを目指します。これを達成するために、一人ひとりの学生を大切にした少人数による教育、教養豊かな感性教育、教員の相互連携による教育体制を整えています。

2. 教育目標

建学の精神に則り、命を持つものはかけがえのない存在であると認識し、他者を思いやる心をもつ看護専門職として社会に貢献でき、生涯を通して自己の可能性に挑戦し続けられる人材を育成します。

3. ディプロマポリシー

看護学科では、教育目標のもと、看護学科の教育課程を履修して所定の単位を修め、これらの能力を備えた者に卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与します。

- ①豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。
- ②自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。
- ③看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。
- ④地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。
- ⑤看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。

4. カリキュラムポリシー

教育課程は建学の精神と基本理念を踏まえ、ひとりの人間としての成長を支える「基礎」科目群と専門分野の基本的な知識・技術を修得する「専門」科目群とにより編成しています。「専門」の科目群は、「看護の基礎」「看護の実践」「看護の発展」の3つの構成により、基礎・基本から応用へと段階的に学修し、あらゆる健康レベルに対応できる人材を育成する科目を配置しています。また、全科目を通じて感性を養うための教授法の工夫を行っています。

1. 「基礎」の科目群は、「純心の感性教育を基盤とした人材の育成」を目指し、豊かな感性と幅広く深い教養、人間の尊厳と権利擁護、倫理的感性の醸成、人々を取り巻く社会・環境について考える科目、あらゆる成長・発達段階にある対象を理解するための科目を配置しています。
2. 「看護の基礎」では、対象の健康状態を的確に判断するために必要な「人間の心と身体・病態・治療に関する科目」、看護の土台となる「看護のしくみ・制度に関する科目」を学びます。さらに人間の尊厳と権利を擁護する力として、看護専門職としての倫理観を育み、自己を活用し、看護の実践の基本となる対人支援力を学修する科目を段階的に配置しています。
3. 「看護の実践」では、対象のあらゆる健康状態やあらゆる発達段階に応じた適切な看護を実践するために必要な「知識・技術・態度」を統合的・体験的に学修する科目を配置しています。
4. 「看護の発展」では、卒業後、継続的に看護学を探究・発展させていくために必要な基礎力と自律した自己教育力を身につけるために、より専門的な科目やマネジメント、看護研究などの科目を配置しています。
5. 看護学への興味と関心が高まるように、実習科目を初期段階から配置し、体験してきたことを講義・演習・実習で確認できるよう考慮しています。また、科目間の関連を学習者が有機的に結びつけて無理なく学修できるように4年間の科目数をバランスよく配置しています。

5. 看護学実習

看護学実習では、学内で学んだ教養と専門の基礎知識、看護技術、援助者としての基本的態度をもとに、医療機関に入院している人々や福祉施設及び地域で生活する人々に接しながら、看護の実際を学びます。

看護学実習を通して、医療・保健・福祉に携わる様々な専門職と接し、専門性を生かした活動を直接学ぶことで、多職種との連携及び協働などについての理解を深め、ヘルスケアチームの一員としての自覚を育みます。詳細は、実習要項を参照してください。

各専門領域の実習は、少数で構成されたグループに別れて実習を行います。領域の実習は、それぞれが独立した必修科目で、各領域のプログラムに沿って実施されます。1つの領域での実習終了後、次の領域での実習というように、3年後期から4年前期にかけて全領域の実習を行います。それぞれの領域をどのような順番で回るかは、実習を行うグループによって異なりますので、3年後期と4年前期にどこの領域実習を行うのかを各自で把握し、履修登録や他の必要な手続きを行ってください。

【実習計画】

4年間の実習計画は次のようになっています。

実習計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次			フィールド 体験学習Ⅰ									基礎 看護学 実習Ⅰ
2年次				フィールド 体験学習Ⅱ				基礎 看護学 実習Ⅱ				
3年次								急性期 看護学実習	小児看護学 実習	慢性期 看護学実習		
4年次		急性期 看護学実習	小児看護学 実習	慢性期 看護学実習				精神保健 看護学実習	地域・在宅 看護学実習	母性看護学 実習		
					統合実習 Ⅰ・Ⅱ							

6. 卒業研究

卒業研究は、それまで学修したことを基礎として研究的思考や手法を身につける科目で、4年前期に「卒業研究Ⅰ」が開講されます。卒業研究は、自己のテーマや目的に従って希望する領域に分かれて行うので、3年後期に開講される「看護研究方法」の終了後に領域希望調査を行って、領域を決定します。領域決定後は、指導教員の下で研究計画書の作成を進めていきますので、それまでにどのような研究をどの領域で行うかについて、各自で考えて準備してください。

7. 履修上の留意点

1) 授業時間割

大学では授業の時間割を自分で組みます。授業には必修授業と選択授業がありますので、まず必修授業を入れて残りの時間に選択授業を入れるようにしましょう。時間割はオリエンテーション期間中に組んでいきます。

- 必修授業：卒業するために必ず履修しなければならない授業。

対象年次が決まっているものは、その年次中に必ず履修してください。

- 選択授業：選択授業は自分で選べる授業です。

自由選択科目と選択必修科目に分けられます。選択必修科目は、定められた項目内から必要な単位数を満たすように科目を選ぶものです。

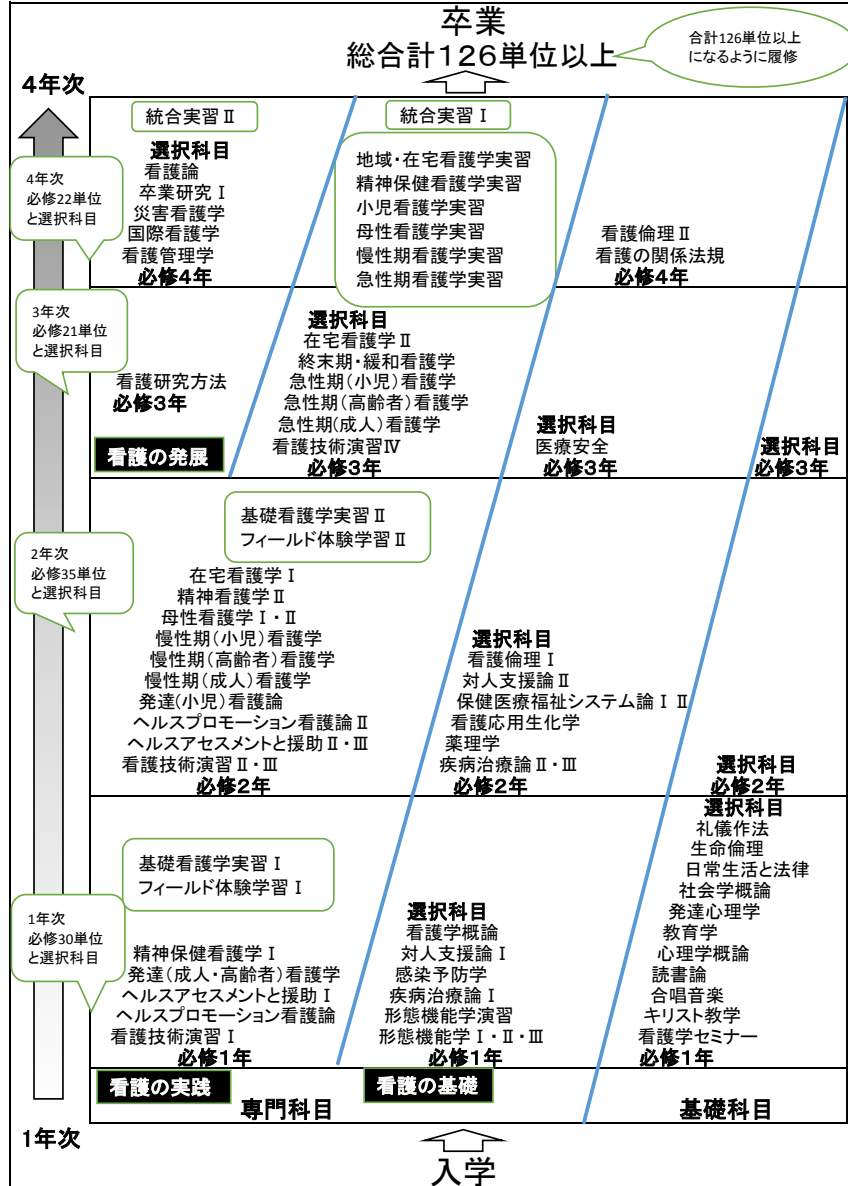
2) 臨時試験と定期試験

大学では前期授業終了日後と後期授業終了日後に、それぞれ定期試験期間がありますが、授業によっては定期試験期間外に試験を実施する場合があります。個々の授業によって異なりますので注意しましょう。

3) 集中講義

授業実施日以外の長期休暇中などに集中して実施される講義があります。講義内容や実施日についてはシラバスで確認しましょう。

【卒業に必要な 126 単位について 必修科目 (108 単位) の配置図】



看護学部 看護学科科目表 (2018年度以前の入学生用)

区分	科目コード	授業科目	単位数		配当年次・時間数								選択必修	形態			科目担当 責任者		
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			講義	演習	実習			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
基礎 科目 群	15JUN101	看護学セミナー	1		15										○			山本 君子	
	15JUN102	キリスト教学	2		30										○			宮本 久雄	
	15JUN201	純心人間学		2		30									○			田尻 真理子	
	15JUN202	哲学		2		30									○			西村 雄太	
	15JUN203	宗教学		2			30								○			寒野 康太	
	15JUN103	合唱音楽	1		15									○				田中 俊太郎	
	15JUN104	読書論	2				30							○					
	15HDE105	心理学概論	1		15										○			尾野 明美	
	15HDE106	教育学概論	1			30									○			神山 直子	
	15HDE107	発達心理学	1			30									○			根本 葉子	
	15LAN108	英語		1	30										○			高橋 千佳子	
	15LAN109	スペイン語		1	30										○				
	15LAN110	韓国語		1	30										○				
	15LAN111	看護英語		1	30										○			高橋 千佳子	
	15LAN112	医療英会話		1		30									○			高橋 千佳子	
	15LAN301	看護論文講読		1							30			○				高橋 千佳子	
	15HUM113	社会学概論	1			30									○			笠原 良太	
	15HUM114	日常生活と法律	1		15										○			石黒 麻利子	
	15HUM115	生命倫理	1		15										○			相羽 利昭	
	15HUM116	礼儀作法	1		15											○			
	15HUM117	運動実技・理論Ⅰ		1	30										○			下川 学	
	15HUM204	運動実技・理論Ⅱ		1			30								○			下川 学	
	15HUM301	教育心理学		1					30						○			尾野 明美	
	15HUM302	医療経済論		1							15				○			川瀬 弘一	
	15HUM118	文化人類学		1		30									○			金子 毅	
	15HUM119	家族社会学		1		30									○			笠原 良太	
	15HUM120	文書表現法		1	15										○			村松 香代子	
	15HUM121	情報科学		1	30										○			田中 久弥	
	15ART122	人間と美術		2	30										○			藤木 晃宏	
	15ART123	人間と音楽		2		30									○			鎗木 陽子	
	15ART303	美術療法		1					30							○		藤木 晃宏	
	15ART304	音楽療法		1					30							○		鎗木 陽子	
	専 門 基 礎 科 目 群	15NBA124	形態機能学Ⅰ	1		30									○				本田 智子
		15NBA125	形態機能学Ⅱ	1		30									○				本田 智子
15NBA126		形態機能学Ⅲ	1			30								○				本田 智子	
15NBA127		形態機能学演習	1			30									○			本田 智子	
15NBA205		疾病治療論Ⅰ	2			60									○			聖マリアンナ 医科大学教員	
15NBA206		疾病治療論Ⅱ	2				60								○				
15NBA207		疾病治療論Ⅲ	2					60							○				
15NBA208		薬理学	2				60								○			武半 優子	
15NBA209		看護応用生化学	1				30								○			吉田 稔	
15NBA128		感染予防学	1			30									○			竹村 弘	
15NBA305		看護の関係法規	1								15				○			青木 浩文	
15NBA210		保健医療福祉システム論Ⅰ	1				30								○			戸塚 智美	
15NBA211		保健医療福祉システム論Ⅱ	1					30							○			戸塚 智美	
15NBA129		対人支援論Ⅰ	1		30											○		山川 裕子	
15NBA212		対人支援論Ⅱ	1					15								○		山川 裕子	
15NBA306		医療安全	1						15						○			上谷 いつ子	
15NBA130		看護学概論	1		15										○			市川 茂子	
15NBA213		看護倫理Ⅰ	1				15								○			相羽 利昭	
15NBA307		看護倫理Ⅱ	1								15				○			相羽 利昭	
15NBA308		対人支援論Ⅲ		1							15					○		山川 裕子	
15NBA309		臨床心理学		1					30						○			河田 幸子	
15NBA131		看護情報学		1		15									○			高柳 良太	
15NBA214		家族看護学		1			15								○			竹元 仁美	

- ・ 授業科目の開講の有無及び開講の時期については、必ず「授業時間割表」で確認してください。
- ・ 15時間の授業は、2分の1期で終了します。
- ・ 科目担当責任者以外の教員は、シラバスで確認してください。

区分	科目コード	授業科目	単位数		配当年次・時間数								選択必修	形態			科目担当 責任者
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			講義	演習	実習	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専 門	15NPR132	看護技術演習Ⅰ	2		60								○		樋口 美樹		
	15NPR215	看護技術演習Ⅱ	2		60								○		樋口 美樹		
	15NPR216	看護技術演習Ⅲ	1			30							○		樋口 美樹		
	15NPR310	看護技術演習Ⅳ	1				30						○		伊藤 美穂		
	15NPR133	ヘルスアセスメントと援助Ⅰ	1		30								○		上谷 いつ子		
	15NPR217	ヘルスアセスメントと援助Ⅱ	1			30							○		市川 茂子		
	15NPR311	ヘルスアセスメントと援助Ⅲ	2				60						○		市川 茂子		
	15NPR134	ヘルスプロモーション看護論Ⅰ	1	15									○		吉田 稔		
	15NPR218	ヘルスプロモーション看護論Ⅱ	2			30							○		吉田 稔		
	15NPR135	発達（成人・高齢者）看護学	1		30								○		小濱 優子		
	15NPR136	発達（小児）看護学	1			30							○		松本 宗賢		
	15NPR312	急性期（成人）看護学	2					60					○		小濱 優子		
	15NPR313	急性期（高齢者）看護学	2						60				○		塚本 都子		
	15NPR314	急性期（小児）看護学	2						60				○		松本 宗賢		
	15NPR219	慢性期（成人）看護学	2				60						○		小濱 優子		
	15NPR220	慢性期（高齢者）看護学	2					60					○		塚本 都子		
	15NPR221	慢性期（小児）看護学	2						60				○		松本 宗賢		
	15NPR315	終末期・緩和看護学	1						30				○		戸塚 智美		
	15NPR222	母性看護学Ⅰ	1			30							○		竹元 仁美		
	15NPR316	母性看護学Ⅱ	2				60						○		竹元 仁美		
	15NPR137	精神保健看護学Ⅰ	1		30								○		山川 裕子		
	15NPR317	精神保健看護学Ⅱ	2			60							○		山川 裕子		
	15NPR223	在宅看護学Ⅰ	1				30						○		戸塚 智美		
	15NPR318	在宅看護学Ⅱ	2					60					○		南 幸子		
	15NPR319	がん看護		1					15				1 単位以上 選択必修	○		坂元 敦子	
	15NPR320	多職種連携論		1						15			○		明石 嘉治		
	15NPR138	フィールド体験学習Ⅰ	1		45									○		山本 君子	
	15NPR224	フィールド体験学習Ⅱ	1			45								○			
	15NPR139	基礎看護学実習Ⅰ	1		45									○		天野 雅美	
	15NPR225	基礎看護学実習Ⅱ	2				90							○		天野 雅美	
	15NPR321	急性期（成人・高齢者）看護学実習	4						180					○		小濱 優子	
	15NPR322	慢性期（成人・高齢者）看護学実習	4						180					○		小濱 優子	
	15NPR323	小児看護学実習	2						90					○		荻原 康子	
	15NPR324	母性看護学実習	2						90					○		竹元 仁美	
	15NPR325	精神保健看護学実習	3						135					○		山川 裕子	
	15NPR326	地域・在宅看護学実習	3						135					○		戸塚 智美	
	15NPR401	統合実習Ⅰ	2							90				○		上谷 いつ子	
	15NAD327	看護管理学	1							15				○		上谷 いつ子	
	15NAD328	国際看護学	1								15			○		上條 優子	
	15NAD329	災害看護学	1								15			○		上谷 いつ子	
	15NAD330	看護研究方法	1						30					○		竹元 仁美	
	15NAD403	卒業研究Ⅰ	4								180			○		竹元 仁美	
15NAD402	統合実習Ⅱ	1								45			○		上谷 いつ子		
15NAD331	看護論	1								15			○		上谷 いつ子		
15NAD332	看護行政と看護の展望	1								15			○		高橋 恵		
15NAD333	看護教育論	1								15			1 単位以上 選択必修	○	上谷 いつ子		
15NAD404	卒業研究Ⅱ	1								45			○		竹元 仁美		
15NAD334	看護技術フォローアップ演習	1								30			○		竹元 仁美		
卒業単位数（126以上）			108	36	合計単位数								18以上				

- ・ 授業科目の開講の有無及び開講の時期については、必ず「授業時間割表」で確認してください。
- ・ 15時間の授業は、2分の1期で終了します。
- ・ 科目担当責任者以外の教員は、シラバスで確認してください。

看護学部履修規程

看護学部履修規程

平成 27 年 2 月 25 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規程は、東京純心大学看護学部看護学科の授業科目の履修方法に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第 2 条 授業科目、授業科目の開設時期及び単位数は別表 1 の通りとする。ただし、教育上必要があるときは、学部の議を経て変更することがある。

(必修科目)

第 3 条 必修科目とは、履修が義務付けられている授業科目をいう。

(選択科目)

第 4 条 選択科目とは、履修が学生自身の選択に任せられている授業科目をいう。このうち、選択必修科目は定められた各科目群の中から選択して、定められた単位数を履修しなければならない。

- 2 上智大学、コンソーシアム八王子など他大学において修得した科目については、卒業に必要な単位として算定しない。
- 3 現代文化学部の科目について修得した単位は、卒業に必要な単位として換算しない。

(履修登録)

第 5 条 学生は、履修しようとする授業科目について、指定の期日までに登録を行わなければならない。

- 2 前項の規定により届け出た授業科目について、変更あるいは取り消す場合は、履修登録変更届により、原則として 1 ヶ月以内、かつ、試験前とする。ただし、集中講義の場合は試験前とする。
- 3 原則として、履修登録できる単位数の上限を各学年 48 単位とする。

(履修の禁止)

第 6 条 次に挙げる授業科目は、履修することができない。

- (1) 登録をしていない授業科目
 - (2) 既に単位を修得した授業科目
 - (3) 授業時間が重複する授業科目
- 2 再履修科目については、担当教員の許可を得た上で、学部の審議を経て許可された科目に限り、履修することができる。

(授業科目の先修条件)

第 7 条 授業科目のうち別表 2 に示す科目については、指定された科目の単位を前もって取得あるいは取得見込みでなければならない。

(試験)

第 8 条 学則第 23 条の規定に基づく試験は、筆記、口述、論文・報告書提出、実技等の方法により行う。

- 2 試験は当該授業科目の総時間数の 3 分の 2 以上出席していなければ受験することができない。
- 3 試験は、次の各号に定めるところにより行う。
 - (1) 試験の種類は、定期試験、随時試験、追試験及び再試験とし、試験の方法は授業担当教員が決定する。
 - (2) 試験は、授業担当教員が監督して行う。ただし、他の教員が代行することができる。
 - (3) 試験開始後 20 分を経過したときは、試験を受けることができない。
 - (4) 答案は、試験開始後 30 分を経過しなければ提出できない。
 - (5) 試験において、不正行為をした者は、学則第 72 条により懲戒処分を受けるほか、当該学期の全履修単位を無効とする。
 - (6) 正当な理由なく試験を欠席した者は、試験を放棄したものとみなす。

(臨時試験)

第9条 臨時試験は、学期途中で授業科目が終了する場合、授業担当教員が必要と認めた場合に適宜行う。

(追試験・追実習)

第10条 学則第24条第1項による追試験・追実習は傷病、災害、その他特別な事由によりやむを得ず受験・実習ができなかった者に対して、「追試験願」「追実習願」の提出により追試験・追実習を行うことができる。

- 2 追試験は当該試験終了後、原則として2週間以内に行うことができる。
- 3 前項の承認を得た者が受験・実習しなかった場合は、再度の追試験・追実習は行わない。
- 4 追実習の時期は、授業担当教員の指定したときに行う。
- 5 追試験による評点は試験得点の80%とする。

(再試験・再実習)

第11条 学則第24条第2項による再試験は当該授業科目の試験において合格点に達しなかった者に対して、「再試験願」の提出により行うことができる。

- 2 再試験は当該試験終了後、原則として2週間以内に1回限り行うことができる。
- 3 再試験による合格者の評価は可とする。
- 4 再実習は行わない。

(成績評価)

第12条 学則第23条による成績評価は試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して判定する。なお、実習においては5分の4以上出席していなければ評価対象とならない。

- 2 成績の表示は学則第23条第4項による。
- 3 不合格となった授業科目は、再履修することができる。

(成績等の通知)

第13条 成績等は、各学期終了後学生及び保証人へ通知する。

(入学前の既修得単位の認定)

第14条 学則第29条による入学前の既修得単位の認定は、所定の手続きにより申請し、学部会の議を経て認定されなければならない。

- 2 認定できる単位数の上限は30単位までとする。ただし、3年次編入学生についてはこの限りではない。
- 3 申請できるのは入学年度のみとする。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年12月14日 一部改正

(第4条3項を追加、第6条2項を追加、第13条の一部修正、第14条2項の一部修正)

別表1 看護学部看護学科 科目一覧 (2019年度以降入学生用)

区分	授業科目	開講時期	単位数		形態	卒業要件		
			必	選				
基礎科目	基礎教養	看護学セミナー	1前	1		講義	必修3科目5単位、 選択必修2科目から 1単位	
		Science Basics	1前	2				講義
		人間とアート	1後	2				講義
		文章表現法	1前		1			講義
	Humanities Basics	1後		2	講義			
	人間理解	キリスト教学	1前	2		講義		必修4科目5単位、 選択必修3科目から 2単位
		純心平和学	2前		2	講義		
		哲学	2前		2	講義		
		宗教学	2後		2	講義		
		倫理学	1前	1		講義		
		論理学	1後	1		講義		
		教育学概論	1後	1		講義		
	こころと身体	心理学概論	1前	1		講義	必修2科目2単位、 選択必修2科目から 1単位	
		発達心理学	1後	1		講義		
		運動実技・理論Ⅰ	1前		1	演習		
		運動実技・理論Ⅱ	2後		1	演習		
	外国語	英語Ⅰ	1前	1		講義	必修3科目4単位、 選択必修3科目から 1単位	
		英語Ⅱ	1後	1		講義		
		看護英語	2通	2		講義		
		英語Ⅲ	2前		1	講義		
		英語看護論文講読	3前		1	演習		
		Reading & Writing	1~4		2	演習		
	社会と生活	社会学概論	1後	1		講義	必修3科目3単位、 選択必修2科目から 1単位	
		社会と法律	1前	1		講義		
		情報科学	1前	1		講義		
		文化人類学	1後		1	講義		
		家族社会学	1後		1	講義		
	こころと芸術	合唱音楽	1前		1	演習	選択必修科目 3科目から2単位	
		美術療法	3前		1	演習		
		音楽療法	3前		1	演習		
看護の基礎	人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ	1前	1		講義	必修21科目24単位、 選択必修3科目から 2単位	
		形態機能学Ⅱ	1前	1		講義		
		形態機能学Ⅲ	1後	1		講義		
		形態機能学演習	1後	1		演習		
	疾病の成り立ちと回復	医療概論	1前	1		講義		
		病理学	1後	1		講義		
		薬理学	2前	2		講義		
		生化学	1前	1		講義		
		栄養学	1前	1		講義		
		感染予防学	1後	1		講義		
		疾病治療論Ⅰ	1後	1		講義		
		疾病治療論Ⅱ	1後	1		講義		
		疾病治療論Ⅲ	2前	1		講義		
		疾病治療論Ⅳ	2前	1		講義		
	疾病治療論Ⅴ	2後	2		講義			
	健康と社会 保障制度	看護の関係法規	4前	1		講義		
		保健医療福祉システム論	2前	1		講義		
		ヘルスプロモーション論	1前	1		講義		
	人間関係と看護の基本	人間関係論Ⅰ	1前	1		演習		
		人間関係論Ⅱ	2後	1		演習		
		人間関係論Ⅲ	4前		1	演習		
看護倫理		2前	2		講義			
看護情報学		1後		1	講義			
臨床心理学		3前		1	講義			

区分	授業科目	開講時期	単位数		形態	卒業要件	
			必	選			
看護の 実践	基礎	看護学概論	1前	1		講義	必修34科目50単位 選択2科目から1単位
		看護技術演習Ⅰ	1前	1		演習	
		看護技術演習Ⅱ	1後	2		演習	
		看護技術演習Ⅲ	2前	2		演習	
		看護理論	1後	1		講義	
		看護過程	2前	1		演習	
		フィジカルアセスメント	2前	1		演習	
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	1		実習	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		実習		
	成人	発達看護学Ⅱ(成人)	2前	1		講義	
		成人看護学Ⅰ	2後	2		講義	
		成人看護学Ⅱ	3前	2		講義	
		成人看護学Ⅲ	3前	1		講義	
	老年	発達看護学Ⅲ(老年)	1後	1		講義	
		老年看護学Ⅰ	2前	1		講義	
		老年看護学Ⅱ	2後	2		演習	
	小児	発達看護学Ⅰ(小児)	2前	1		講義	
		小児看護学Ⅰ	2後	1		講義	
		小児看護学Ⅱ	2後	1		講義	
	母性	小児看護学Ⅲ	3前	1		演習	
		母性看護学Ⅰ	2前	1		講義	
		母性看護学Ⅱ	2後	2		演習	
	精神	精神看護学Ⅰ	2前	1		講義	
		精神看護学Ⅱ	2後	1		演習	
		精神看護学Ⅲ	3前	1		演習	
	応用	家族看護学	2前	1		講義	
		終末期・緩和看護学	3前	1		講義	
		がん看護	3前		1	講義	
		補完代替医療と看護	3前		1	講義	
	専門領域実習	成人看護学実習Ⅰ	3後	3		実習	
		成人看護学実習Ⅱ	3後	3		実習	
		老年看護学実習Ⅰ	2前	2		実習	
		老年看護学実習Ⅱ	3後	2		実習	
小児看護学実習		3後	2		実習		
母性看護学実習		3後	2		実習		
精神看護学実習		3後	2		実習		
看護の 発展	看護の統合	医療安全	3前	1		講義	必修14科目20単位 選択3科目から2単位
		医療経済論	4前	1		講義	
		多職種連携論	4前	1		講義	
		看護管理学	4前	1		講義	
		国際看護学	1後	1		講義	
		災害看護学	1後	1		講義	
		看護行政と看護の展望	4後	1		講義	
		看護論	4後	1		講義	
		看護教育論	4後		1	講義	
		看護技術フォローアップ演習	4後		1	演習	
		在宅看護学Ⅰ	2後	1		講義	
		在宅看護学Ⅱ	3前	2		演習	
		在宅看護学実習	3後～4前	2		実習	
	統合実習	4前	2		実習		
	看護の 創造	看護研究方法	2前	1		講義	
		看護研究Ⅰ	2後～3後	4		演習	
看護研究Ⅱ		4前～4後		2	演習		

別表1 看護学部看護学科 科目一覧（2018年度以前の入学生用）

区分	授業科目	開講時期	単位数		形態	卒業要件	
			必	選			
基礎科目群	看護学セミナー	1前	1		講義	1	
	キリスト教学	1前	2		講義	2	
	純心人間学	2前		2	講義	3科目から 2単位以上	
	哲学	2前		2	講義		
	宗教学	2後		2	講義		
	合唱音楽	1前	1		演習	1	
	読書論	1・2・3・4前後	2		演習	2	
	心理学概論	1前	1		講義	1	
	教育学概論	1後	1		講義	1	
	発達心理学	1後	1		講義	1	
	英語	1前		1	講義	6科目から 3単位以上	
	スペイン語	1前		1	講義		
	韓国語	1前		1	講義		
	看護英語	1前		1	講義		
	医療英会話	1後		1	講義		
	看護論文講読	4前		1	演習		
	社会学概論	1後	1		講義		1
	日常生活と法律	1前	1		講義		1
	生命倫理	1前	1		講義		1
	礼儀作法	1前	1		演習		1
	運動実技・理論Ⅰ	1前		1	演習	8科目から 6単位以上	
	運動実技・理論Ⅱ	2後		1	演習		
	教育心理学	3前		1	講義		
	医療経済論	4前		1	講義		
	文化人類学	1後		1	講義		
	家族社会学	1後		1	講義		
	文章表現法	1前		1	講義		
	情報科学	1前		1	講義		
	人間と美術	1前		2	講義		
	人間と音楽	1後		2	講義		
美術療法	3前		1	演習	4科目から 3単位以上		
音楽療法	3前		1	演習			
形態機能学Ⅰ	1前	1		講義		1	
形態機能学Ⅱ	1前	1		講義		1	
形態機能学Ⅲ	1後	1		講義	1		
形態機能学演習	1後	1		演習	1		
疾病治療論Ⅰ	1後	2		講義	2		
疾病治療論Ⅱ	2前	2		講義	2		
疾病治療論Ⅲ	2後	2		講義	2		
薬理学	2前	2		講義	2		
看護応用生化学	2前	1		講義	1		
感染予防学	1後	1		講義	1		
看護の関係法規	4前	1		講義	1		
保健医療福祉システム論Ⅰ	2前	1		講義	1		
保健医療福祉システム論Ⅱ	2後	1		講義	1		
対人支援論Ⅰ	1前	1		演習	1		
対人支援論Ⅱ	2後	1		演習	1		
医療安全	3前	1		講義	1		
看護学概論	1前	1		講義	1		
看護倫理Ⅰ	2前	1		講義	1		
看護倫理Ⅱ	4前	1		講義	1		
対人支援論Ⅲ	3後		1	演習	4科目から 2単位以上		
臨床心理学	3前		1	講義			
看護情報学	1後		1	講義			
家族看護学	2前		1	講義			

区分	授 業 科 目	開講時期	単位数		形 態	卒業要件
			必	選		
専 門 群	看護技術演習Ⅰ	1後	2		演習	2
	看護技術演習Ⅱ	2前	2		演習	2
	看護技術演習Ⅲ	2後	1		演習	1
	看護技術演習Ⅳ	3前	1		演習	1
	ヘルスアセスメントと援助Ⅰ	1後	1		講義	1
	ヘルスアセスメントと援助Ⅱ	2前	1		演習	1
	ヘルスアセスメントと援助Ⅲ	2後	2		演習	2
	ヘルスプロモーション看護論Ⅰ	1前	1		講義	1
	ヘルスプロモーション看護論Ⅱ	2前	2		演習	2
	発達(成人・高齢者)看護学	1後	1		講義	1
	発達(小児)看護学	2前	1		講義	1
	急性期(成人)看護学	3前	2		講義	2
	急性期(高齢者)看護学	3前	2		演習	2
	急性期(小児)看護学	3前	2		演習	2
	慢性期(成人)看護学	2後	2		講義	2
	慢性期(高齢者)看護学	2後	2		講義	2
	慢性期(小児)看護学	2後	2		演習	2
	終末期・緩和看護学	3前	1		講義	1
	母性看護学Ⅰ	2前	1		講義	1
	母性看護学Ⅱ	2後	2		演習	2
	精神保健看護学Ⅰ	1後	1		講義	1
	精神保健看護学Ⅱ	2前	2		演習	2
	在宅看護学Ⅰ	2後	1		講義	1
	在宅看護学Ⅱ	3前	2		演習	2
	がん看護	3前		1	講義	2科目から 1単位以上
	多職種連携論	4前		1	講義	
	フィールド体験学習Ⅰ	1前	1		実習	1
	フィールド体験学習Ⅱ	2前	1		実習	1
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1		実習	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		実習	2
	急性期(成人・高齢者)看護学実習	3後～4前	4		実習	4
	慢性期(成人・高齢者)看護学実習	3後～4前	4		実習	4
	小児看護学実習	3後～4前	2		実習	2
	母性看護学実習	3後～4前	2		実習	2
	精神保健看護学実習	3後～4前	3		実習	3
	地域・在宅看護学実習	3後～4前	3		実習	3
	統合実習Ⅰ	4前	2		実習	2
	看護管理学	4前	1		講義	1
	国際看護学	4後	1		講義	1
	災害看護学	4後	1		講義	1
	看護研究方法	3後	1		講義	1
	卒業研究Ⅰ	4通	4		演習	4
統合実習Ⅱ	4後	1		実習	1	
看護論	4後	1		講義	1	
看護行政と看護の展望	4後		1	講義	4科目から 1単位以上	
看護教育論	4後		1	講義		
卒業研究Ⅱ	4後		1	演習		
看護技術フォローアップ演習	4後		1	演習		

別表2 実習の先修科目 (2015~2016年度入学生)

実習名	先行して単位修得を必要とする科目
基礎看護学実習Ⅰ	形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、対人支援論Ⅰ、フィールド体験学習Ⅰ、看護技術演習Ⅰ、感染予防学
フィールド体験学習Ⅱ	発達(成人・高齢者)看護学、基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護学実習Ⅱ	疾病治療論Ⅰ・Ⅱ、薬理学、看護倫理Ⅰ、ヘルスアセスメントと援助Ⅰ・Ⅱ、看護技術演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ
急性期(成人・高齢者)看護学実習	フィールド体験学習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、急性期(成人)看護学、急性期(高齢者)看護学、看護技術演習Ⅳ
慢性期(成人・高齢者)看護学実習	フィールド体験学習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、慢性期(成人)看護学、慢性期(高齢者)看護学、看護技術演習Ⅳ
小児看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、発達(小児)看護学、慢性期(小児)看護学、急性期(小児)看護学、看護技術演習Ⅳ
母性看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ
精神保健看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
地域・在宅看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスプロモーション看護論Ⅰ・Ⅱ、慢性期(成人)看護学、慢性期(高齢者)看護学、慢性期(小児)看護学、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ
統合実習Ⅰ	看護専門領域実習(6領域を履修し、そのうち5領域以上単位を取得していること)
統合実習Ⅱ	看護管理学、看護専門領域実習(6領域を履修し、そのうち5領域以上単位を取得していること)

別表2 実習の先修科目 (2017~2018年度入学生)

実習名	先行して単位修得を必要とする科目
基礎看護学実習Ⅰ	形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、対人支援論Ⅰ、フィールド体験学習Ⅰ、看護技術演習Ⅰ、感染予防学
フィールド体験学習Ⅱ	発達(成人・高齢者)看護学、基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護学実習Ⅱ	疾病治療論Ⅰ・Ⅱ、薬理学、看護倫理Ⅰ、ヘルスアセスメントと援助Ⅰ・Ⅱ、看護技術演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ
急性期(成人・高齢者)看護学実習	疾病治療論Ⅲ、フィールド体験学習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、急性期(成人)看護学、急性期(高齢者)看護学、看護技術演習Ⅳ、終末期・緩和看護学
慢性期(成人・高齢者)看護学実習	疾病治療論Ⅲ、フィールド体験学習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、慢性期(成人)看護学、慢性期(高齢者)看護学、看護技術演習Ⅳ、終末期・緩和看護学
小児看護学実習	疾病治療論Ⅲ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスアセスメントと援助Ⅲ、発達(小児)看護学、慢性期(小児)看護学、急性期(小児)看護学、看護技術演習Ⅳ
母性看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ
精神保健看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
地域・在宅看護学実習	疾病治療論Ⅲ、基礎看護学実習Ⅱ、ヘルスプロモーション看護論Ⅰ・Ⅱ、慢性期(成人)看護学、慢性期(高齢者)看護学、慢性期(小児)看護学、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、終末期・緩和看護学
統合実習Ⅰ	看護専門領域実習
統合実習Ⅱ	看護管理学、看護専門領域実習

別表2 実習の先修科目（2019年度以降入学生）

実習名	先行して単位修得を必要とする科目
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、看護技術演習Ⅰ
老年看護学実習Ⅰ	発達看護学Ⅲ（老年）、基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ、看護技術演習Ⅱ、看護過程
専門6領域看護学実習 ・成人看護学実習Ⅰ ・成人看護学実習Ⅱ ・老年看護学実習Ⅱ ・母性看護学実習 ・小児看護学実習 ・精神看護学実習 ・在宅看護学実習	3年前期までの全ての必修科目
統合実習	専門6領域看護学実習、看護管理学